

TOTO

密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

工事店様へ

試運転で必ず実施してください

●便器洗浄をして水たまり面が低下する場合

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

水たまり面が低下する場合

➔ **⑥ 水たまり面が低下する場合の対応方法** を参照ください。

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合

大洗浄4.8Lを下記水量に変更することができます。

大洗浄6Lに変更する場合

➔ **大洗浄6Lへの変更方法** を参照ください。

大洗浄8Lに変更する場合

➔ **大洗浄8Lへの変更方法** を参照ください。

●和洋リモデル工法の場合

大洗浄4.8Lを大洗浄6Lに変更してください。

➔ **大洗浄6Lへの変更方法** を参照ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

注意

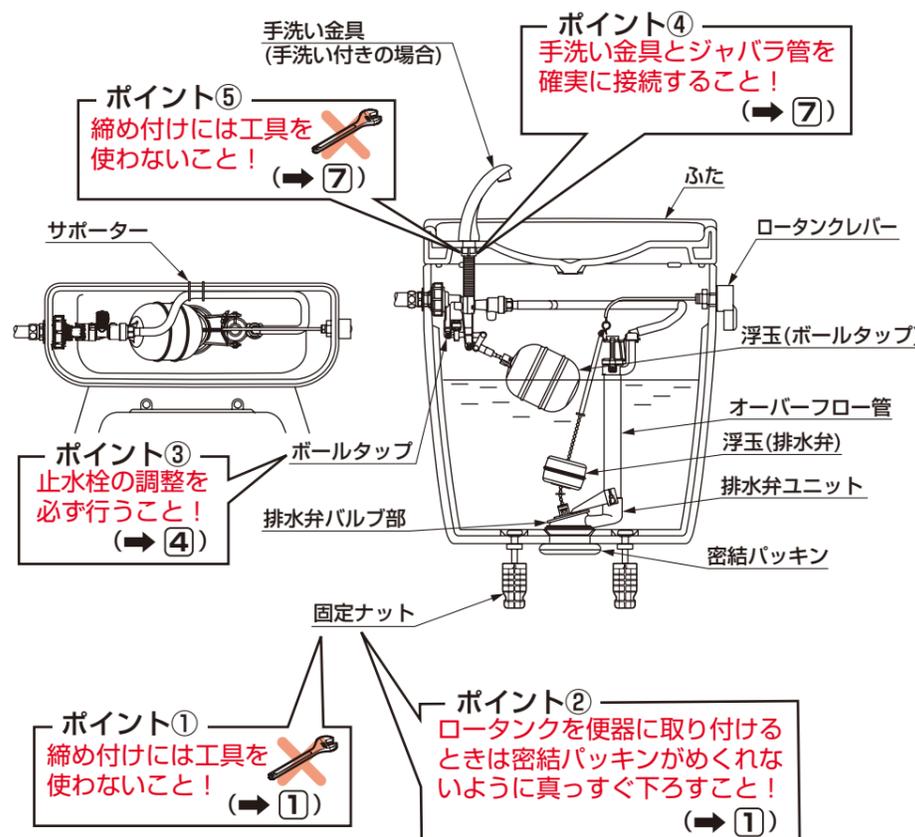
	禁止 陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないとき水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

ロータンク	ふた	固定ナット
 (1個)	 (1個)	 (2個)
密結パッキン	六角穴付きボルト	スリップワッシャー
 (1個)	 ※ふた固定仕様の場合のみ (1個)	 ※ふた固定仕様の場合のみ (1個)
パッキン	施工説明書	取扱説明書
 ※ふた固定仕様の場合のみ (1個)	 (1部)	 (1部)

各部のなまえと施工のポイント



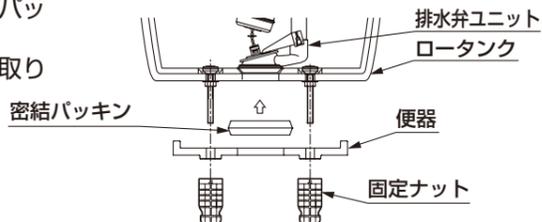
※(→○)内の数字は器具の取り付け手順を示します。

※現場での右給水切り替えはできません。

取付方法

1 ロータンクと便器の固定

排水弁ユニットのねじ部に密結パッキンを差し込む。
その後、ロータンクを便器に取り付ける。



ロータンクを便器に取り付ける

下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。

斜めに下ろす
(密結パッキンがめく
れることがあります)

真っすぐ下ろす



注意

ロータンクを斜めに下ろさない
斜めに下ろすと密結パッキンがめくれて水漏れするおそれがあります。



注意

固定ナットの締め付けは手締めで行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。



左右の固定ナットを確実に締める

左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

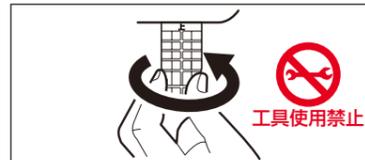
必ず実行

固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。

※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。

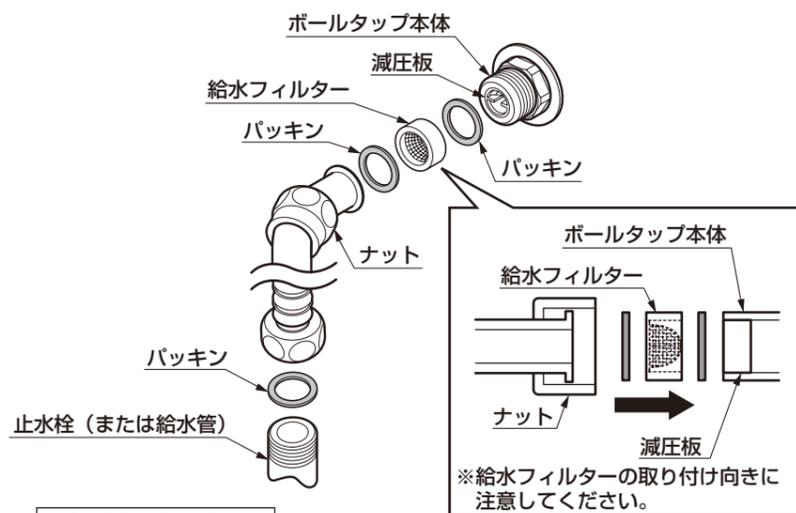
注意

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。



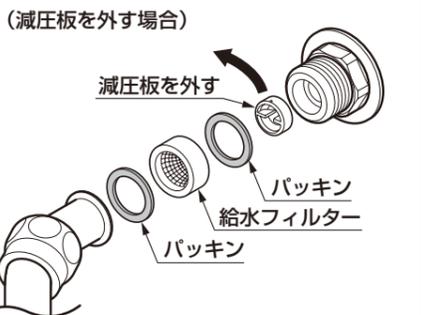
2 ボールタップと止水栓の接続

ボールタップ側を固定したあと、止水栓側を固定する。



減圧板の取り扱い

水圧が低く(0.1MPa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎるときは減圧板を外してセットする。



※給水フィルターの取り付け向きに注意してください。

3 止水位の調整

注意



手洗い付きの場合は、ジャバラ管吐水口をロータンク内に向けること
実施しない場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

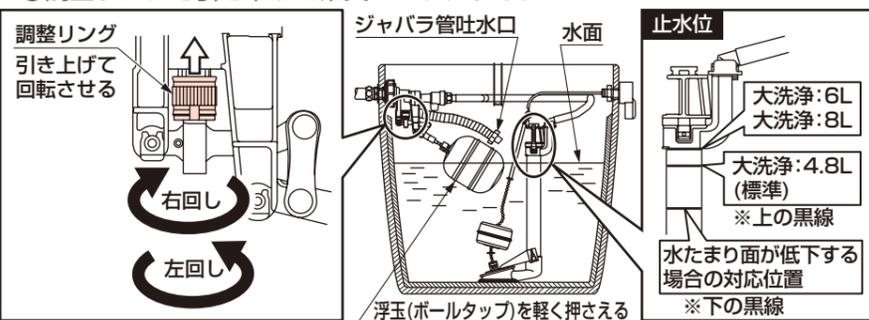
洗浄水量設定を変更する場合、止水位の調整前に

・大洗浄6Lに変更する場合 → **大洗浄6Lへの変更方法**

・大洗浄8Lに変更する場合 → **大洗浄8Lへの変更方法**

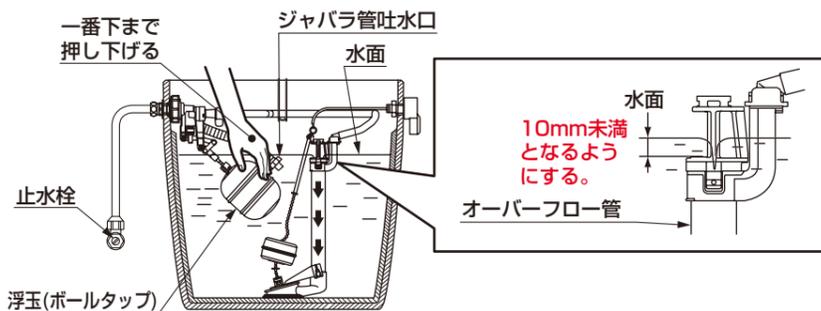
を実施してください。

- 止水栓を開く。
- 調整リングを引き上げる。
- 調整リングを回し、止水位を**確実に**あわせる。
 - ・止水位を上げる場合…上方より見て右回し
 - ・止水位を下げる場合…上方より見て左回し
 - ※調整リングは浮玉(ボールタップ)を軽く押さえるとスムーズに回せます。
- 調整リングを引き下げて確実にロックする。



4 止水栓の調整

- 止水栓を閉める。
- 浮玉(ボールタップ)を押し下げたままにする。
- 止水栓を徐々に開く。
※水面がオーバーフロー管より10mm未満となるように調整する。



注意

手洗い付きの場合は、ジャバラ管吐水口をロータンク内に向けること
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

必ず止水栓の調整を実施すること
実施しない場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

5 水たまり面の確認

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。

正常な状態

設定変更は **正常な水たまり面** 不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)



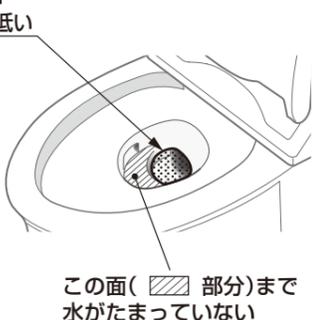
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を **行ってください**。

(洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます)

設定変更の仕方は「**⑥ 水たまり面が低下する場合の対応方法**」をご確認ください。



この面(斜線部分)まで水がたまっていない

＜水たまり面の判断に迷ったときは…＞

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

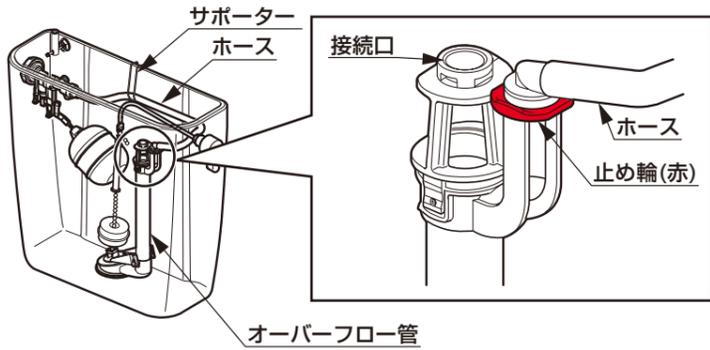
排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

6 水たまり面が低下する場合の対応方法

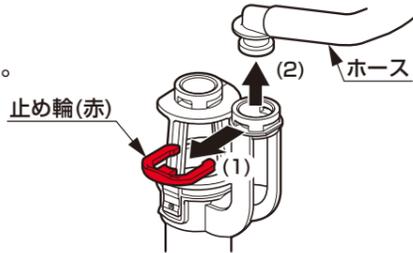
① 止水栓を閉めて給水を止める。

② ホース接続位置を変更する。

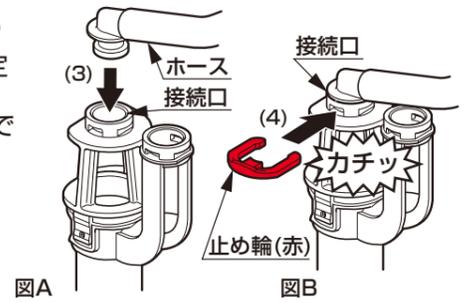
※初期設定では、ホースは図のように接続されています。



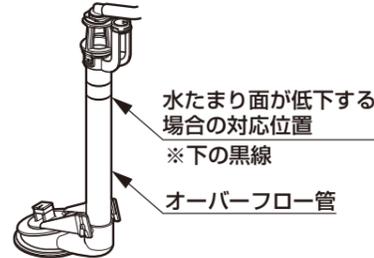
- (1) 止め輪(赤)を手前に引き抜く。
 (2) ホースを上を持ち上げて取り外す。



- (3) ホースを接続口に差し込む。(図A)
 (4) 止め輪(赤)を接続口に差し込み固定する。(図B)
 ※このとき「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



③ 止水位の調整を行う。



止水位は、オーバーフロー管の水たまり面が低下する場合の対応位置(下の黒線)に調整してください。

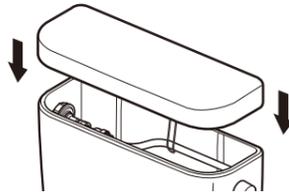
※止水位調整方法については③「止水位の調整」を参照ください。

以降の作業は「取付方法④、⑤、⑦、⑧」に従って作業してください。

7 ふたの取り付け

<手洗いなしの場合>

① ふたを取り付ける。



注意

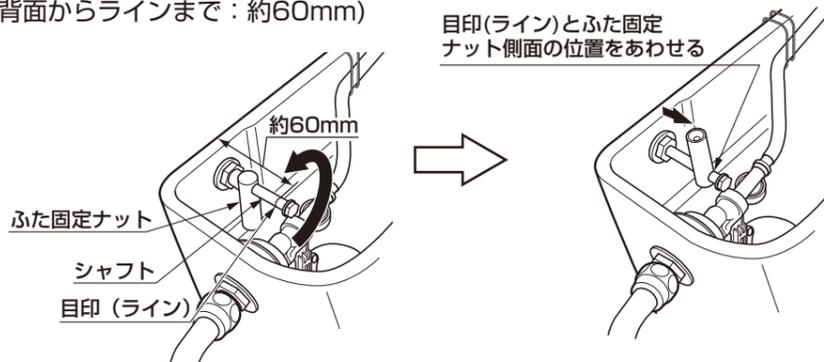
ふたは落とさないように注意する
 破損してけがをするおそれがあります。
 必ず実行 ！ ！ ！
 ふたは、ゆっくり載せる
 激しく載せると、ふたが割れ、けがをするおそれがあります。

<ふた固定仕様の場合>

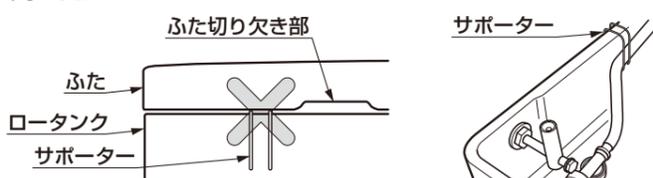
注意

ねじの締め込み過ぎに注意する
 締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。
 必ず実行 ！ ！ ！

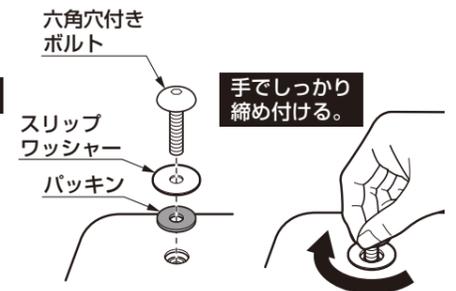
① ふた固定ナットを上向きにし、シャフトの目印(ライン)とふた固定ナットの側面の位置をあわせる。(背面からラインまで: 約60mm)



② サポーター取付位置をロータンク中央にあわせる。
 ※サポーターがふた切り欠き部からずれていると、ふたを固定するときにロータンクとふたとの間にすき間が発生します。



③ ふたを載せ、六角穴付きボルトにスリップワッシャーとパッキンを付け手でしっかり締め付ける。



④ 六角穴付きボルトを、六角レンチ(サイズ4mm)で2.5~3回転程度締め込み、ふたのガタツキがないことを確認する。
 ※締め付けたとき、パッキンのはみ出しがないか確認してください。

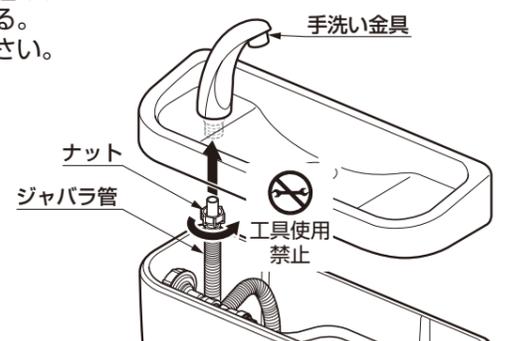


<手洗い付きの場合>

注意

手洗い金具とジャバラ管を確実に接続する
 確実に接続されないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行 ！ ！ ！
 ナットの締め付けは手締めで行う
 工具を使用すると破損するおそれがあります。

① ジャバラ管を手洗い金具に差し込み、ナットを手でしっかり締め付ける。
 ※手洗い金具を持たないでください。



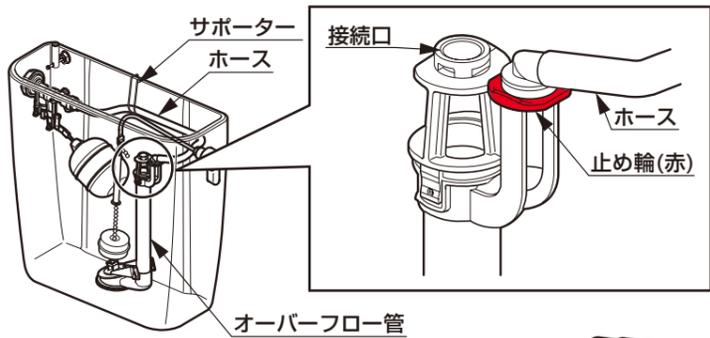
8 取り付け後の確認

2~3度洗浄させて、便器・ロータンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。

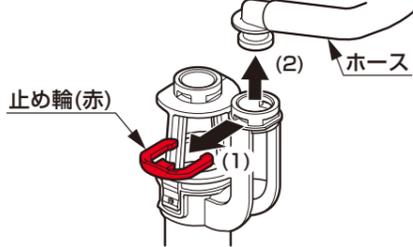
※同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

大洗浄6Lへの変更方法

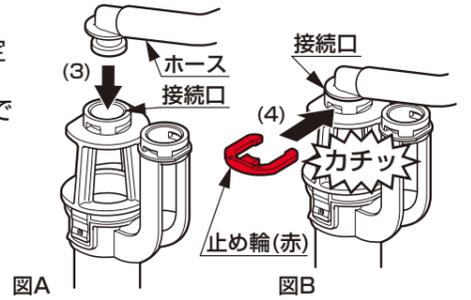
- ① 止水栓を閉めて給水を止める。
 - ② ホース接続位置を変更する。
- ※初期設定では、ホースは図のように接続されています。



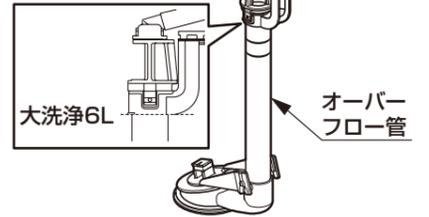
- (1) 止め輪(赤)を手前に引き抜く。
- (2) ホースを上を持ち上げて取り外す。



- (3) ホースを接続口に差し込む。(図A)
 - (4) 止め輪(赤)を接続口に差し込み固定する。(図B)
- ※このとき「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



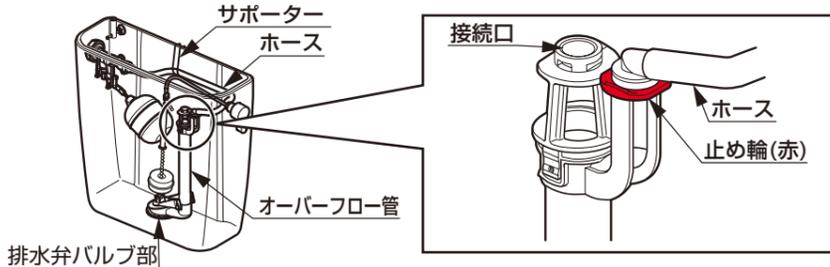
- ③ 止水位の調整を行う。
- 止水位は、オーバーフロー管の大洗浄6L位置に調整してください。
- ※止水位調整方法については③「止水位の調整」を参照ください。



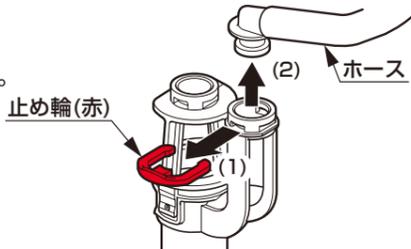
以降の作業は「取付方法④、⑤、⑦、⑧」に従って作業してください。

大洗浄8Lへの変更方法

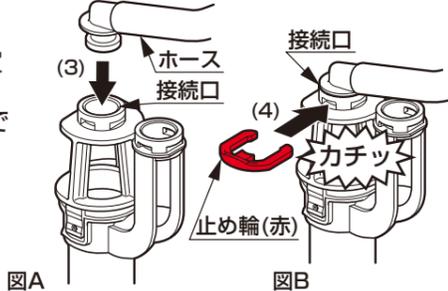
- ① 止水栓を閉めて給水を止める。
- ② ホース接続位置を変更する。



- (1) 止め輪(赤)を手前に引き抜く。
- (2) ホースを上を持ち上げて取り外す。



- (3) ホースを接続口に差し込む。(図A)
 - (4) 止め輪(赤)を接続口に差し込み固定する。(図B)
- ※このとき「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- ④ 排水弁バルブ部を取り外す。
- (1) フックバーに指をかける。
 - (2) 垂直に持ち上げる。



- ④ 浮玉(排水弁)位置の調整を行う。

- (1) 浮玉(排水弁)の下にある止め輪(大)を引き抜く。
- (2) 浮玉(排水弁)が下の止め輪(小)に当たるまで下げる。

- (3) 浮玉(排水弁)の上に先ほど外した止め輪(大)を取り付ける。

- ⑤ 排水弁バルブ部を取り付ける。
- ※④と逆の手順で新しい排水弁バルブ部を取り付けてください。
- フックは「カチッ」と音がするまでしっかりと取り付けてください。

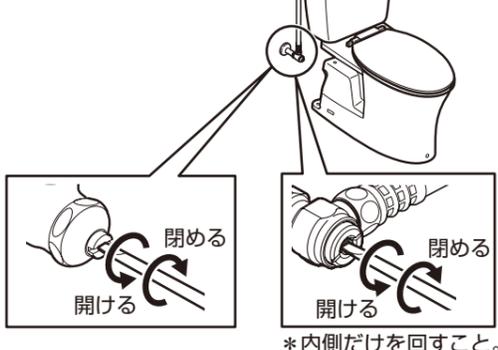
- ⑥ 止水位の調整を行う。
- 止水位は、オーバーフロー管の大洗浄8L位置に調整してください。
- ※止水位調整方法については③「止水位の調整」を参照ください。

以降の作業は「取付方法④、⑤、⑦、⑧」に従って作業してください。

(参考) 止水栓の開閉と取付方法

(止水栓の開閉)

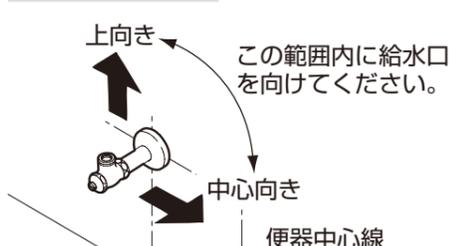
マイナスドライバーで矢印の方向に回して開閉する。



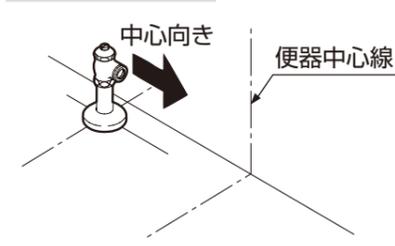
*内側だけを回すこと。

(止水栓の取り付け)

<左壁給水の場合>



<左床給水の場合>



<右壁給水の場合>

右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

<右床給水の場合>

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

※壁給水の場合、給水ホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調節してください。